

資料提供	
令和3年7月2日	
担当 (担当者)	県立図書館 (松田・松尾)
電話	0857-26-8155

鳥取県立図書館「闘病記文庫」開設15周年記念シンポジウム2021 「新型コロナウイルスとの闘い～アフターコロナにおける図書館の可能性を考える～」 の開催について

図書館では、平成18年より医療・健康情報サービスを開始し、「闘病記文庫」を開設しました。

今年度は「闘病記文庫」を開設して15周年を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大予防の正しい理解を伝え、人権を尊重し、安心して暮らせる地域づくりにつなげることが重要です。そこで、感染拡大防止対策にあたってきた病院関係者、コロナ禍において対処してきた患者会や図書館の代表によるシンポジウムを開催します。

1 シンポジウム名

鳥取県立図書館「闘病記文庫」開設15周年記念シンポジウム2021

「新型コロナウイルスとの闘い～アフターコロナにおける図書館の可能性を考える～」

2 日時

令和3年7月10日（土） 午後1時30分から4時まで

13:30

14:10 14:20 14:30

15:50 16:00

基調講演	報告	休憩	シンポジウム	質疑 応答
------	----	----	--------	----------

3 会場

鳥取県立図書館 大研修室

4 内容

- ・基調講演 鳥取大学医学部 副学部長 景山誠二氏
演題「新型コロナウイルス変異株の流行とワクチン接種」
- ・報告 中尾有希子（鳥取県立図書館郷土資料課長）
演題「県立図書館および県内図書館の医療・健康情報の15年間の歩み」
- ・シンポジウムコーディネーター 田村俊作氏（慶應義塾大学名誉教授 図書館情報学）
- ・シンポジウムパネリスト 友森一美氏（乳がん患者会「あけぼの会鳥取県支部」代表）
景山誠二氏（鳥取大学医学部 副学部長）
内田眞澄氏（前鳥取県看護協会会長）
松田啓代（鳥取県立図書館情報相談課長）

5 備考

手話通訳あり。鳥取県民カレッジ連携講座、鳥取大学サイエンス・アカデミー連携講座。
県立図書館会場定員40名、zoom視聴定員100名